

# 環境活動レポート

[2017年度 2017/4~2018/3]



# 株式会社 ユウキ工業

2018年6月26日

## 1. 株式会社ユウキ工業の事業概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 ユウキ工業

代表取締役社長 北澤 芳恵

(2) 所在地

〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1

(3) 対象範囲 : 全社 全組織

金属加工部品の製造及び販売

(4) 環境管理責任者

北沢 隆和

(5) 担当者連絡先

〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1

連絡担当者: 北沢 隆和

T E L : 042-700-8070 F A X : 042-779-8702

E-mail : psm@yuki-k.co.jp

(5) 事業概要 (2018年4月1日現在)

①主な事業: 金属加工部品の製造及び販売

②資本金: 1000万円

③従業員数: 28人

④床面積: 998.27 m<sup>2</sup>

⑤生産量

	2015年度	2016年度	2017年度
生産量 (トン)	179.4	221.3	165



## 2. 環境方針

### －(株)ユウキ工業 環境方針－

当社は、金属加工部品の製造業者として、地球環境・地域環境に配慮し、環境保全活動を推進し、次に示す環境方針を定める。

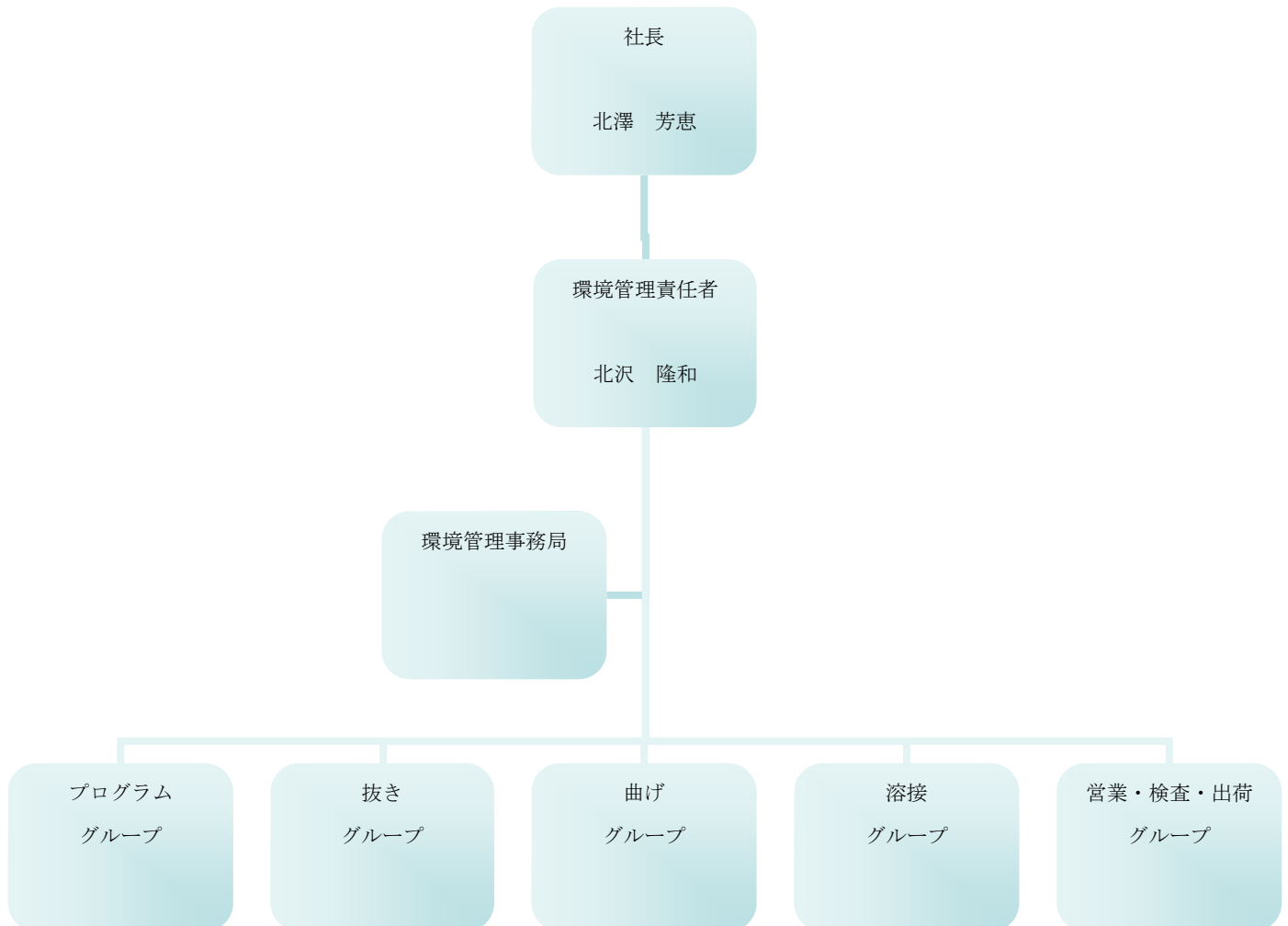
1. 環境目標を設定し、主に以下の項目を取組むことによって、環境負荷を改善する。
  - (1) 廃スクラップ金属の削減
  - (2) 可燃ゴミの削減
  - (3) 電力使用量の削減
  - (4) ガソリンの使用量削減
2. 関連する環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を順守する。その他の要求事項では、有害物質含有禁止に関する顧客要求に対し、管理を徹底して遵守することを重点項目とする。
3. 環境経営システムを確立し、見直しを行って、その継続的改善及び汚染の予防を行い、維持する。
4. 従業員に教育を行い、全員参加による環境保全活動を実行する。
5. 環境方針を含めて記述した環境活動レポートを作成し、利害関係者等からの要求に応じて配布、公表し、社内外への情報提供を行うことによって、積極的な環境コミュニケーションに取り組む。

2008年5月26日改訂  
株式会社 ユウキ工業  
代表取締役社長 北澤 芳恵



### 3. 環境経営システム組織体制

㈱ユウキ工業 環境経営システム組織図  
(2017年4月1日現在)



### 4. 環境負荷実績

項目	2015年度	2016年度	2017年度
CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	162,670	167,703	186,066
水使用量 (m <sup>3</sup> )	479	471	451
廃棄物等排出量 (t)	36.6	40.96	48.9
総物質投入量 (t)	216	262	214

2015年度よりCO<sub>2</sub>排出係数「0.505kg-CO<sub>2</sub>/kwh」(2014年度 東京電力(株)実排出係数)を使用。



## 5. 環境目標

(株)ユウキ工業 2017年度～2019年度 環境目標

大項目	項目名	2017年度	2018年度	2019年度
廃棄物削減	金属スクラップの削減	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を14%以下にする (2008年度 13.74%)	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を14%以下にする (2008年度 13.74%)	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を14%以下にする (2008年度 13.74%)
〃	可燃ごみの削減	2016年度対比1%削減とする	2017年度対比1%削減とする	2018年度対比1%削減とする
CO2削減	ガソリンの使用量の削減	2016年度対比総量1%削減	2017年度対比総量1%削減	2018年度対比総量1%削減
〃	電力使用量の削減	売上高当り2016年度実績に対し、1%削減	売上高当り2017年度実績に対し、1%削減	売上高当り2018年度実績に対し、1%削減
〃	CO2総排出量削減	2016年度比1%削減	2017年度比1%削減	2018年度比1%削減
節水	水使用量の削減	2016年度対比現状維持とする	2017年度対比現状維持とする	2018年度対比現状維持とする
グリーン購入	グリーン購入品目の増加	2016年度目標に加え、グリーン調達品目の増加	2017年度目標に加え、グリーン調達品目の増加	2018年度目標に加え、グリーン調達品目の増加
その他	5S活動の推進	継続実施	継続実施	継続実施
化学物質削減	洗浄液の代替品検討	代替品の調査	代替品の調査	代替品の調査

※「化学物質削減」に関し、PRTR法対象物質については、少量使用している。使用量削減より「代替」を目指しており、数値目標を設定していない。

以上



## 6. 主要な環境活動計画の内容

(株)ユウキ工業 2017年度 環境活動計画の主な実施項目

項目名	主な施策
金属スクラップの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業標準書見直し</li> <li>・不良削減</li> <li>・作業改善を図る</li> </ul>
可燃ごみの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の徹底</li> </ul>
ガソリンの使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率の良い運行をする</li> </ul>
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー・水使用がトータル実践（エアコンの管理、照明の管理、待機電力の管理等）</li> <li>・節電の管理</li> <li>・作業標準書見直し</li> <li>・不良削減</li> <li>・作業改善を図る</li> <li>・機械メーカーによる設備メンテナンス及び各担当者による設備メンテナンスによる生産効率向上</li> </ul>
CO2 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気量・灯油・ガソリン使用量の削減</li> </ul>
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー・水・紙の使用がトータル(YE-0802)の実践（台所・トイレの節水、掃除時の節水等）</li> </ul>
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な物からグリーン品に切り替える</li> </ul>
社内エコ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員環境活動参加の意識付け 5S 活動の推進</li> </ul>
化学物質削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代替品の調査</li> </ul>



## 7. 環境活動の取組結果の実績と評価、次年度の取組

(株)ユウキ工業 2017年度の取組結果と評価

No.	実施項目	評価	目標達成度	実施内容と分析、是正・予防処置
1	廃金属スクラップの削減	×	目標： スクラップ率 14%以下 2017年度実績：24.34%  2016年度実績：15.57%	9月に大型機械の入れ替えをした際スペース確保の為、大掛かりな材料整理を実施した事が今期のスクラップ率が大幅に増加した一番の要因と思われる。その他にも、製品の大型化により端材が多く出てしまう事や製品の厚いご注文も増加した事でのスクラップ量の増加も考えられる。増加要因でやむを得ない場合を除き不良率低下による材料のスクラップ減等は可能である為、活動を継続する。
2	可燃ごみの削減	×	目標：16年排出実績に対して1%削減 2017年度実績：17%増加  2016年度 633.4kg 2017年度 739.8kg	キズ防止の為の保護ビニールゴミや材料の梱包用品等が増加した事や以前は別集計としていた安全靴等の計量を混在させていた事が大きく増加した要因と思われる。分別の徹底は身につけてきたものの再度確認をしながら、安全靴や作業服等の廃棄時は計量を別とし、動向を確認する。
3	社用車使用量の削減	○	目標：2016年度比総量1%削減 2016年度実績：8%削減  2016年度：4,098.50 2017年度：3,769.60	遠距離の納品を宅配にする事や、納品回数を減らす様、作業工程を変更する等の効果も大きな要因と思われる。引き続き計画的な納品を心掛け不要な増加が無い様努力する。
4	電力使用量の削減	○	目標：売上高当り 2016年実績に対し、1%削減 2017年度実績：1%削減  2016年度：0.70kwh/千円 2017年度：0.69 kwh/千円	機械の入れ替えによるスピードアップや省電力化の効果が出たと思われる。作業者の経験値による作業効率効果も考えられる。次年度も作業効率改善は引き続き検討しながら日々の作業を行う。



5	CO2 排出量の削減	×	<p>目標:2016 年度比 1% 削減</p> <p>2017 年度実績:10%増加</p> <p>2016 年度: 167,704kg</p> <p>2017 年度: 185,104kg</p>	<p>作業効率の改善や、機械入れ替えに依る効果はあるものの、全体の電力使用量は増加してしまった為、CO2 の排出量は増加してしまった。</p> <p>細かな節電意識を再確認しながら CO2 排出量の削減目標に向かい努力する。</p>
6	水使用量の削減	○	<p>目標 : 2016 年度対比 現状維持(総量)</p> <p>2017 年度実績 : 4%削減</p> <p>2016 年度 : 471 m<sup>3</sup></p> <p>2017 年度 : 451 m<sup>3</sup></p>	<p>受注製品により増減の影響はあるものの一定に使用している生活排水については、安定した節水を実施する事が出来た。</p> <p>今後も継続していきたい。</p>
7	グリーン購入品目の増加	○	グリーン購入品目の増加	事務用品を中心にグリーン購入品の増加が出来た。
8	社内エコ活動	○	<p>全員が参加できる 環境活動</p> <p>5S 活動の推進</p>	通勤時の CO2 排出量削減活動や美化、緑化等継続的に活動する事が出来た。
9	洗浄液の代替品検討	△	代替品の調査	代替品の調査を実施し、1 品目の候補があることがわかった。



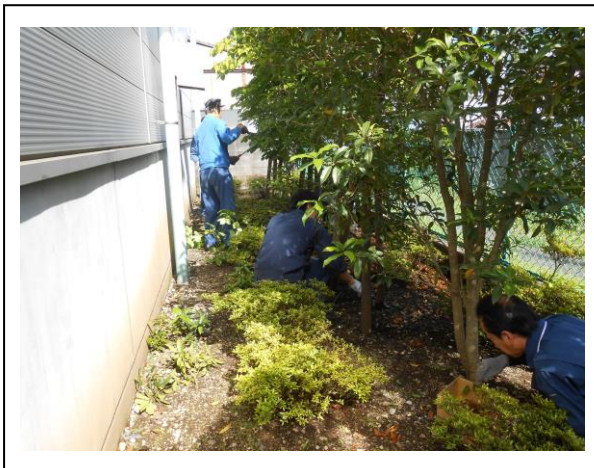


## 8. 環境改善への取組活動の例

### 【5S活動】



### 【美化活動】



### 【緑化活動】



及、



(1) 該当環境関連法規と違反状況

No.	法規制等の名称	評価	違反内容
1	下水道法及び 相模原市下水道条例	○	なし。
2	廃棄物処理法	○	なし。
3	相模原市廃棄物の処理及び清 掃に関する条例	○	なし。
4	騒音規制法 及び神奈川県生活環境の保全 等に関する条例	○	なし
5	振動規制法 及び神奈川県生活環境の保全 等に関する条例	○	なし
6	家電リサイクル法	○	なし。
7	自動車リサイクル法	○	なし。
8	消防法 及び 相模原市火災予防条例	○	なし。
9	相模原市開発事業基準条例	○	なし
10	神奈川県生活環境の保全等に 関する条例	○	なし。
11	高圧ガス保安法	○	なし。
12	RoHS 指令	○	なし。
13	フロン排出抑制法	○	なし。

(2) 訴訟等の有無

環境関連法規への違法はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。



## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果(2018年6月23日)

### (1) 環境方針

環境方針は継続する。活動を始めて年数が経っている事から、風化しないよう年1回の活動説明会での読み上げ、新入社員への説明会を実施する。

### (2) 環境目標及び計画

受注品の内容やお客様の状況により、活動結果が大きく変化するものの、目標や計画は昨年からの数値で継続する。廃金属スクラップ率については、対象の金属を絞って数値を確認し、有効な活動となるよう改める事。

### (3) 社会・取引先・法律等への対応

法規制については年間を通じて遵守できた。新たな法規制や変更点があれば情報を入手し、対応できる体制を維持する。

### (4) システムのその他の要素

事務局メンバーが2年目となり、活動にも十分慣れてきた所だが、多くのメンバーに経験をして欲しいという思いから、新年度はメンバーを交代する。

以上

